

情 報 公 開 文 書

研究の名称	Fibrillar-type 疱疹状皮膚炎患者の病変部皮膚の組織学的検討
整理番号	臨29-138
研究機関の名称	国立大学法人 富山大学
研究責任者	富山大学大学院医学薬学研究部皮膚科学・准教授・牧野輝彦
研究の概要	<p>【研究対象者】 2005年4月～2017年12月までに当院皮膚科で診療を受け、fibrillar-type 疱疹状皮膚炎の診断のために皮膚生検を行った患者。</p> <p>【研究の目的・意義】 疱疹状皮膚炎は1884年にはじめて報告された自己免疫性疾患です。欧米では10万人に10-40人と比較的頻度の高い疾患でグルテン過敏性腸症を伴います。皮膚に抗体が顆粒状に沈着し、組織トランスグルタミナーゼと表皮トランスグルタミナーゼと呼ばれる蛋白質を認識する抗体を持っていることが知られています。しかし、本邦では疱疹状皮膚炎はまれで、グルテン過敏性腸症の合併が少なく、皮膚に繊維状に抗体が沈着します。また、表皮トランスグルタミナーゼのみを認識する抗体を持っています。このように本邦の疱疹状皮膚炎は欧米の疱疹状皮膚炎と異なる特徴を示します。我々はこのような本邦例をfibrillar-type 疱疹状皮膚炎と呼ぶことを提唱しました。本研究では典型的なfibrillar-type 疱疹状皮膚炎をもつ患者さんから得た皮膚組織を用いて、この病気の発症や病態形成のメカニズムについて解析を行います。</p> <p>【研究の方法】 病気の診断のため採取した皮膚組織を用いて、皮膚に存在する蛋白質や炎症反応と、表皮トランスグルタミナーゼを認識する抗体との関係について調べます。</p> <p>【研究期間】 2018年4月3日～2023年12月31日</p> <p>【研究結果の公表の方法】 学会発表および英文誌での論文掲載を行います</p>
研究に用いる試料・情報の項目と利用方法 (他機関への提供の有無)	<p>試料：疱疹状皮膚炎の診断のため富山大学附属病院皮膚科で採取した病変部皮膚組織</p> <p>情報：疱疹状皮膚炎に関する診断名、臨床症状、血液検査結果、自己抗体の測定値、病理組織所見、治療内容、臨床経過</p>
研究に用いる試料・情報を利用する機関及び施設責任者氏名	富山大学大学院医学薬学研究部皮膚科学・准教授・牧野輝彦
研究資料の開示	研究対象者、親族等関係者のご希望により、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で研究計画書等の研究に関する資料を開示いたします。
試料・情報の管理責任者(研究主機関における研究責任者氏名)	富山大学大学院医学薬学研究部皮膚科学・准教授・牧野輝彦
研究対象者、親族等関係者からの相談等への対応窓口	<p>研究対象者からの除外(試料・情報の利用または他機関への提供の停止を含む)を希望する場合の申し出、研究資料の開示希望及び個人情報の取り扱いに関する相談等について下記の窓口で対応いたします。</p> <p>電話 076-434-7305 FAX 076-434-5028 E-mail dermatol@med.u-toyama.ac.jp 担当者所属・氏名 富山大学大学院医学薬学研究部皮膚科学・准教授・牧野輝彦</p>